

日時：平成 20 年 6 月 11 日 19:00～22:00

場所：虎ノ門・縁

参加者（役職名敬称略）町田、永田、牛場、湯浅、小谷、土居、三矢、長谷川、香坂、八尾、眞壁、小嶋、岩田、安田、炭竈、品田、竹内、神島、青木、腰高、高堂、荒木、坂上、小林、石丸、原、計 26 名

【報告事項】

1. 名簿、機関誌の進捗状況（神島）

当初の予定（6 月末）より遅れ、7 月半ばに発行予定。
前回の幹事会での確認通り、1 年生を名簿に記載する。

2. エリアネットワーク（永田）

9 月に東北・北海道地区、中・四国地区の会合を開催予定。
10 月には名古屋地区→大阪・神戸地区を続けてまわる。

3. 楽籠市場（竹内）

竹内さんから 10 期斉藤さんへ引き継ぎ。
今回も、名簿・機関誌と同封で、案内を送信する予定。

4. SO 関係（湯浅）

先日、夏の東京地区 SO 大会が開催された。
今年も、7 月にバスケットボールの東日本大会が開催される。
スタッフ、コーチ、オフィシャルに OB・現役・KGB の多数が参加、協力。

5. 事務局より

会計担当の清水君が、7 月より水島へ異動。後任の会計担当候補に打診中。

【協議事項】

1. 今年度年会費納入状況について

- ・請求対象会員 337 名のうち、実引落とし+別途振込で 260 名。77.2%は、昨年比 2.4 ポイントダウンだが、別途の振り込みを呼びかけることで、最終的には 80%を超えるように努力していく。
- ・今回の引落とし・不能・引落とし未登録などの状況を該当各代幹事に発信、最終的な状況確認を行なう。各代で事情を把握し、議長・腰高まで報告するものとする。
- ・会友には納入を求めないが、払う意志があればそれを妨げない。また、海外転勤者には原則として納入を求めないが、銀行口座が日本に残されていて、自動引き落としになる場合には、納入を妨げない。いずれにしても、名簿や会報は発送する。

2. 海外遠征に向けて

- ・はじめに、前回の臨時幹事会で決定した「遠征実施の条件」をふまえ、現役が活動を行うことが出来ているか、実際の練習や試合を見たOBから意見が出た。
(現役担当：青木、原 その他OB：町田、小谷、三矢、香坂、竹内など)
- ・塾内リーグは1勝2敗、春期連盟戦は1勝1敗。戦績はパツとしないが、2年生を中心に潜在能力があり、就職活動を終えた4年生、5人の固定したメンバーがいる1年生がこれに加われば、今後の伸びしろは大いにある。また、OBとの連絡などの面についても、遠征担当との連携がうまくいっている。
- ・今年度はチームを育て、来年度実施した方がよい、という意見もあったが、すでに現地での受け入れ準備が進んでいることや、条件付きで実施をすること自体は前回の臨時幹事会で決定済みであることなどから、隔年開催の原則通り実施すること(ただし、「遠征実施の条件」に外れることがあれば、中止もあり得る)をあらためて確認。
- ・遠征実施時期は、三田祭期間を外し、11/26(水)朝出発→30(月)朝到着の3泊5日の旅程となる予定。現役の個人参加費は7万円で、出来る限り質素な旅行にする。

3. 現役のあり方について(女子、他校生などの扱いについて)

- ・海外遠征実施にあたり、万が一のことがあった場合の責任の明確化という観点から、他校生や女子が練習に参加している現役の現状を話し合うことになった。
- ・会長、副会長、幹事会議長、事務局長を中心とする事前ミーティングにおいて、ある程度の方向性が話し合われたものの、今回は「楽籠名簿の中に他校生が掲載されていた」という事実を知らなかった幹事が多いため、その事実と事前ミーティングの内容をまず示した上で、自由に議論することにした。
- ・文字通り議論が百出したが、全会一致で確認できたことは以下の通り。
→今年度主務の久恒さん(女性、他校生)については、現状の仕事ぶりからしても、今の楽籠には欠かせない存在であり、特例扱いとして主務であることを認める。
→現在練習に参加している女子や他校生、また、今後参加を希望する女子や他校生の扱いについては、あらためて幹事会で話し合う。これは、①「通常の活動については現役に任せることにする」のか否か、②「卒業時、OB会員として受け入れる」のか否か、という点も含め、総合的に検討するものとする。

以 上